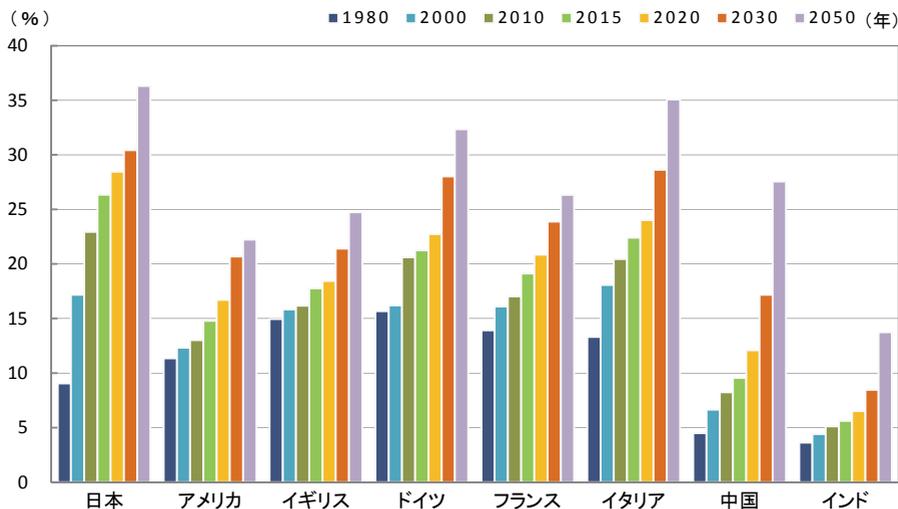


2-3 老年人口比率（65歳以上人口）



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第2-5表 老年人口(65歳以上人口)」(p.59)を参照。

出生率の低下と平均寿命の伸長によって高齢化が進展し、総人口に占める65歳以上の人口の割合（老年人口比率）が増加している。国連の『2015年版世界人口予測』によると、全世界の老年人口比率は、2015年の8.3%から2050年には16.0%に増加すると予測されている。とりわけ先進地域における高齢化の進展が顕著で、老年人口比率は2015年の17.6%から2050年には26.5%へと増加する。とりわけ日本の高齢化は急速で、2010年に22.9%であった老年人口比率が、2050年には36.3%に達する見通しである。2010年、2030年、2050年のいずれの推計でも欧米先進諸国を上回っており、極めて老年人口比率の高い国になると予測されている。

他方、現在は比較的高出生率が高い発展途上地域でも、今後、高齢化が急速に進展すると予測されており、2015年は6.4%に過ぎない老年人口比率が、2050年には14.4%に達する見通しである。上のグラフからも、中国やインドの高齢化が先進諸国より急速であることがわかる。